

## ■ 景観まちづくりの取り組み（R6年度実績）

資料1

### (1) 意識啓発・情報提供

取り組み	事業名称	主な内容
・景観計画の市民等への周知	豊橋の景観PR事業	HP掲載
・景観資源の情報発信	豊橋の景観PR事業	景観さがし絵ボード(104部)・ポケット版(3050部)の印刷・配布 「かがやく豊橋」(小学生教材)掲載
・市民参加のワークショップの開催(景観資源探索など)	豊橋の景観PR事業	愛知大学・学生による「まち歩きマップ」制作のために二川地域住民と開催
・景観に係る学習の機会の提供(講演会の開催など)	豊橋の景観PR事業	豊橋創造大学・愛知大学の学生への講義 二川小学校の総合学習、小学校出前講座(4校)
・景観に係る情報提供の場の整備 (景観資源図の周知、景観教育の支援、景観モニタリング)	豊橋の景観PR事業	—

### (2) 支援

取り組み	事業名称	主な内容
・まちづくり景観形成地区のまちづくり団体への支援 (活動団体への助成、ルールづくりの専門的な支援など)	都市景観推進事業	二川宿まちづくり3団体との意見交換会(3回)
・まちづくり景観形成地区の建築行為への支援 (整備への助成、景観配慮の専門的な支援)	まちづくり景観形成整備事業	新築・リフォームなどへの支援(3件)
・景観上重要な建造物や樹木の保全に対する支援 (保全への助成、専門的な支援)	都市景観推進事業	—
・景観アドバイザーによる助言	都市景観推進事業	事業への助言(1件)
・住民の景観まちづくり活動への支援	都市景観推進事業	二川宿まち並み通信の発行支援(4回)

### (3) 規制誘導

取り組み	事業名称	主な内容
・大規模建築物等の規制誘導 (景観法に基づく届出、条例に基づく事前協議)	都市景観推進事業	事前協議(98件)、届出(160件)
・まちづくり景観形成地区の建築物等の規制誘導 (条例に基づく届出)	都市景観推進事業	届出(13件)
・新たなまちづくり景観形成地区の指定の検討	都市景観推進事業	—
・屋外広告物の規制誘導 (屋外広告物条例に基づく許可、違反屋外広告物の対策)	屋外広告物対策事業	許可(348件)、除却件数(14件)
・景観計画ガイドラインの策定・充実	都市景観推進事業	—
・景観上重要な建造物の景観重要建造物への指定	都市景観推進事業	指定件数(1件)「前芝の燈明台」
・景観上重要な樹木の景観重要樹木への指定	都市景観推進事業	指定件数(1件)「龍源院のお葉つき公孫樹」
・文化財保護法の制度を活用した景観資源の指定と登録	都市景観推進事業	国の登録有形文化財に登録(普門寺の建造物6棟)

### (4) 良好な公共事業

取り組み	事業名称	主な内容
・行政職員への景観計画や景観配慮の考え方の周知	都市景観推進事業	技術職員向け研修開催(2回)、一般職員向け研修開催(1回)
・良好な公共事業の推進体制づくり	都市景観推進事業	景観アドバイザーの活用(1件)
・関係行政機関への働きかけ	都市景観推進事業	国・県への通知(各1回)
・公共事業の景観形成ガイドラインの策定・充実	都市景観推進事業	—
・景観に配慮した公共事業への相談対応	都市景観推進事業	公共工事の事前相談(34件)
・公共事業の景観評価の実施	都市景観推進事業	—
・良好な景観の公共事業の事例集の作成	都市景観推進事業	—
・景観上重要な施設を景観法の景観重要公共施設に指定	都市景観推進事業	—

## ○景観まちづくりの取り組み（R7年度予定）

### (1) 意識啓発・情報提供

取り組み	事業名称	主な内容
・景観計画の市民等への周知	豊橋の景観PR事業	HP掲載
・景観資源の情報発信	豊橋の景観PR事業	景観さがし絵ボード(児童クラブ)・ポケット版(小3)の印刷・配布
・市民参加のワークショップの開催（景観資源探索など）	豊橋の景観PR事業	愛知大学・学生による「まち歩きマップ」制作・配布
・景観に係る学習の機会の提供（講演会の開催など）	豊橋の景観PR事業	豊橋創造大学の学生への講義、小学校出前講座(8校)
・景観に係る情報提供の場の整備 (景観資源図の周知、景観教育の支援、景観モニタリング)	豊橋の景観PR事業	——

### (2) 支援

取り組み	事業名称	主な内容
・まちづくり景観形成地区のまちづくり団体への支援 (活動団体への助成、ルールづくりの専門的な支援など)	都市景観推進事業	二川宿まちづくり3団体との意見交換会
・まちづくり景観形成地区の建築行為への支援 (整備への助成、景観配慮の専門的な支援)	まちづくり景観形成整備事業	新築・リフォームなどへの支援
・景観上重要な建造物や樹木の保全に対する支援 (保全への助成、専門的な支援)	都市景観推進事業	——
・景観アドバイザーによる助言	都市景観推進事業	公共工事への助言
・住民の景観まちづくり活動への支援	都市景観推進事業	二川宿まち並み通信の発行支援

### (3) 規制誘導

取り組み	事業名称	主な内容
・大規模建築物等の規制誘導 (景観法に基づく届出、条例に基づく事前協議)	都市景観推進事業	事前協議、届出
・まちづくり景観形成地区の建築物等の規制誘導 (条例に基づく届出)	都市景観推進事業	届出
・新たなまちづくり景観形成地区の指定の検討	都市景観推進事業	——
・屋外広告物の規制誘導 (屋外広告物条例に基づく許可、違反屋外広告物の対策)	屋外広告物対策事業	許可、除却
・景観計画ガイドラインの策定・充実	都市景観推進事業	——
・景観上重要な建造物の景観重要建造物への指定	都市景観推進事業	次年度指定に向けて準備
・景観上重要な樹木の景観重要樹木への指定	都市景観推進事業	次年度指定に向けて準備
・文化財保護法の制度を活用した景観資源の指定と登録	都市景観推進事業	——

### (4) 良好な公共事業

取り組み	事業名称	主な内容
・行政職員への景観計画や景観配慮の考え方の周知	都市景観推進事業	技術職・一般職員向け研修開催
・良好な公共事業の推進体制づくり	都市景観推進事業	景観アドバイザーの活用
・関係行政機関への働きかけ	都市景観推進事業	国・県への通知
・公共事業の景観形成ガイドラインの策定・充実	都市景観推進事業	——
・景観に配慮した公共事業への相談対応	都市景観推進事業	公共工事の事前相談
・公共事業の景観評価の実施	都市景観推進事業	——
・良好な景観の公共事業の事例集の作成	都市景観推進事業	——
・景観上重要な施設を景観法の景観重要公共施設に指定	都市景観推進事業	——

# 景観まちづくりの主な取り組みについて

豊橋市は、令和3年4月に景観法に基づく景観計画を策定し、「ともに育む 豊橋らしい こちよい景観」を基本理念に、これまで以上に美しいまちづくりを進めることにしました。

そこで本市では、「豊橋の景観マップ」を活用し、市民等に対する意識啓発の取り組みを進めています。

## 1 景観資源の情報発信について

### (1) 豊橋の景観さがし絵ボードの印刷・配布

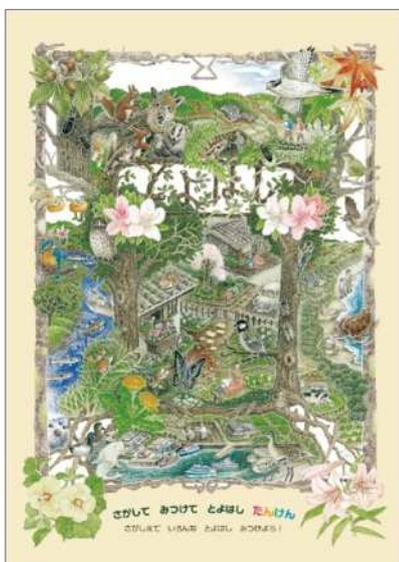
本市では、景観計画を策定する際に、市民みんなで豊橋の景観を共有するために、豊橋の景観資源が描かれた「豊橋の景観マップ」を画家の「かんだ あさ」さんに描いていただきました。

そして、令和5年には、本市の豊かな景観を子どもたちにより深く知ってもらうため、「豊橋の景観マップ」を活用した「豊橋の景観さがし絵ボード」“とよはし ～さがして みつけて とよはし たんけん”を作成しました。このボードは、豊橋の景観マップに描かれた景観資源をリズムカルな言葉で絵探しをしながら、豊橋のまちを知ることができるもので、「豊橋の景観マップ」の作者である「かんだ あさ」さんに描いていただきました。表紙の絵は子どもたちの目線で、自分たちの住むまちから周りを見渡すと豊かな自然の中に生き物や植物があふれているということを表現したものです。また、裏表紙には、本市の豊かな景観をワンポイントとして描画していただきました。

このボードを、令和5年度に、小学校、地区市民館、図書館など子どもたちが日常的に利用する市内の公共施設に、令和6年度には、市内の保育園・幼稚園・認定こども園などに配布しました。また、ポケット版は市内の小学3年生全員に配布しています。

#### ■参考資料

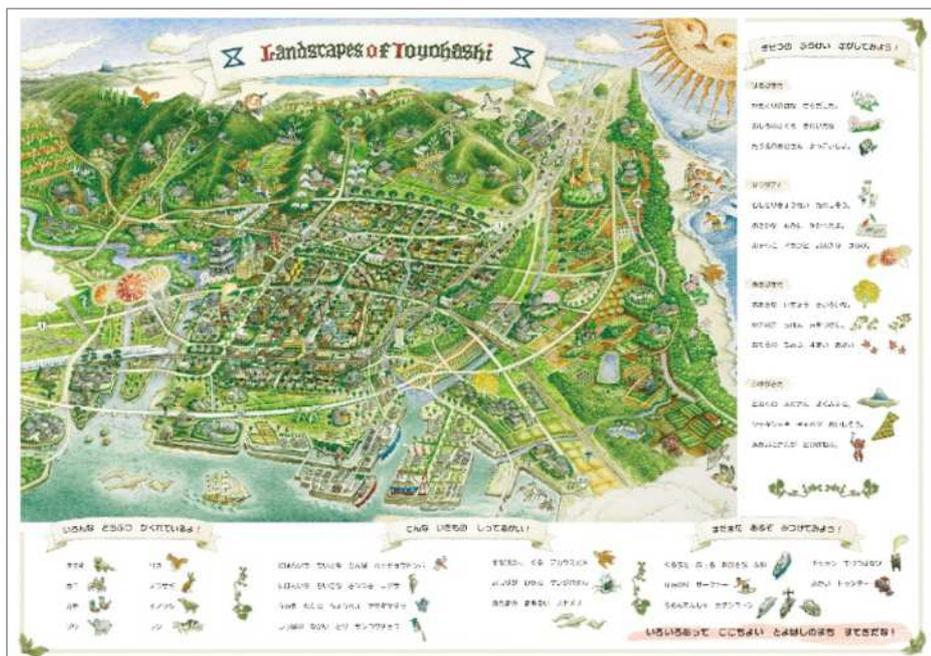
- 豊橋の景観さがし絵ボード「とよはし ～さがして みつけて とよはし たんけん～」



▲ 表紙 (B4)



▲ 裏表紙 (B4)



▲ 見開きページ (B3)

令和6年3月に、豊橋市まちなか図書館において、小学4年生以下の子どもを対象にしたイベントを開催しました。さがし絵ボードの作者である「かんだ あさ」さんに講師として参加いただき、実際にさがし絵ボードを使って、子どもたちに絵探しで遊びながら豊橋の景観について学んでいただきました。

■ イベント「さがし絵でいろんな豊橋を見つけよう！」



▲ イベントに参加した子どもたち



▲ 表紙の絵についてお話するかんださん

## 2 市民参加のワークショップの開催について

### (1) 愛知大学・二川地域まち歩きマップ制作

現在、愛知大学地域政策学部佐藤ゼミによる、二川地域まち歩きマップの制作がすすめられています。令和7年1月に、二川生涯学習センターにおいて、座談会形式で住民参加のワークショップが開催されました。

今回のワークショップには、二川地域のまちづくり3団体のほか二川校区自治会など、総勢20人の住民が参加し、多くの情報が学生たちに提供されました。

座談会では、歴史・文化、買い物・グルメ、景観・建物のテーマ毎3班に分かれて、地図に付箋を貼る形式で進められました。歴史文化や店舗などの情報だけでなく、子どものころの思い出や昔のまちの様子など、地域住民ならではの話がたくさん出て、大いに盛り上がりました。若い世代と地元住民との交流が図られ、住民のまちづくり活動の活力になったように感じられました。

現在、佐藤ゼミの学生は、より魅力あるマップを作るため、学生が文献調査やフィールドワークを行い、地域に存在する多様な地域資源について調査しています。マップは、今年8月の完成予定で、その後、ワークショップに参加していただいた地域住民を集めて、お披露目会が行われる予定です。そして、完成したマップは、二川地域を中心に各所で配布されるとともに、地域住民のまちづくり活動に役立てられる予定です。

このマップによって、今後二川を訪れる方々の役に立ち、賑わい創出の一助につながるものと考えています。



▲ 地域住民が参加したワークショップの様子



▲ 意見交換により学生と住民の交流が進む

\* その他、ワークショップの様子は、「二川宿まち並み通信第37号」を参照

### 3 景観に係る学習機会の提供について

#### (1) 豊橋創造大学との連携授業

本市の豊かな景観を子どもたちにより深く知ってもらうため、令和5年度から、豊橋創造大学との連携の取り組みを開始しました。この取り組みでは、子どもたちに直接携わることになる、保育士・幼稚園教諭を目指す学生が、自分たちの暮らす働くまちの知識を深め、教育に活かしていただくことで、感性や知識が豊かな子どもたちを育てることを目的としています。

今年の1月に、1年生の学生を対象に、豊橋のまちの知識を深めていただくために、豊橋の景観について講義を行いました。6月には、2年生になった同じ学生を対象にグループワーク形式により、園児が活動をとおして郷土に親しみを持ち感性を磨く手法を考えていただきました。今回、学生が提案したものを、市内の公立保育園で取り組む予定です。

この取り組みにより、未来を担う子どもたちが幼少期から豊橋の景観に親しみ、地域の景観を知ること、ふるさと「豊橋」への愛着を持つことにつながると考えています。



▲ 豊橋の景観の講義の様子（1年生）



▲ グループワークにおける活動の提案の様子（2年生）

## (2) 二川小学校の総合学習における共同の取り組み

未来の二川のまちを育むため、昨年9月～10月にかけて、二川小学校6年生の総合学習の授業において、6年生の子どもたちを対象に、二川小学校、まちづくり3団体及び市都市計画課の3者で共同の取り組みを行いました。

### ■【取り組み①】：二川宿の歴史的な建物と所有者の思いを学ぶ見学会

この見学会では、二川のまちには歴史的な建物が数多く残っていて、その建物を大切に守る人が居ることを子どもたちに知ってもらうことを目的に行いました。二川宿の伝統的な建築様式を残す建物の所有者さん2人を、二川小6年生の子どもたちが訪問し、見学とインタビューを行いました。

子どもたちは、所有者の方々に質問をしながら、建物の特徴や保全の思いを聞き、普段の生活の中ではできない貴重な体験をしました。



▲ 建物の所有者のお話を熱心に聞く子どもたち

### ■【取り組み②】：二川宿の景観まちづくりの市の取り組みを学ぶ勉強会

この勉強会では、歴史的なまち並み景観のまちづくりには、ルールがあることを知っていただくために行いました。現場学習を終えた子どもたちに対して、市都市計画課が、二川宿景観形成地区整備計画を含めた、景観まちづくりの市の取り組みについてお話ししました。

二川宿景観形成地区では、歴史的な建物の特徴に合わせて、建物を建てる際の基準があり、住民みんなルールを守り、まちづくりを行っていることを伝えました。

### ■ 【取り組み③】：二川宿の景観まちづくりに取り組む住民の思いを学ぶ勉強会

この勉強会では、二川宿の景観まちづくりに取り組む住民が居ることを伝えるために行いました。まちづくり団体の会長3名が授業に参加し、子どもたちにまちづくりへの思いを伝えました。子どもたちは、住民の熱心な活動により、良いまち並みができていることを知り、今まで以上に関心が高まったようです。



▲ まちづくり団体の会長が参加した授業の様子

### ■ 総合学習の成果・学習発表会

この学習を始める前の子どもたちは旧街道について、「狭く、車通りが多く危ない！怖い！」、「古い建物はなぜ直さないの?」といった良くない印象を持っていました。しかし、今回の一連の学習を終えた子どもたちの思いに変化が生まれ、「歴史あるまち並みを残したい」、「旧街道を安全・安心な道にしたい」と学習発表会の場で学習の成果を会場の大人たちに伝えました。

今回の学習を通じて、子どもたちにまちづくりを知ってもらうことの大切さを実感し、二川宿のまちづくりについて大人が実践しなければならないと感じた良い機会となりました。



\* その他、取り組みの内容は、「二川宿まち並み通信第36・37号」を参照

## 4 景観上重要な建造物の景観重要建造物への指定

### (1) 前芝燈明台の点灯式

■ 取り組みの内容等 . . . . . 以下の回覧チラシを参照

#### ◆ 前芝の燈明台 記念点灯式 景観重要建造物の指定を地域で祝う！

118年ぶりに明かりが灯り  
かつての湊町の風景がよみがえる！



前芝の景観のシンボルである「前芝の燈明台」が、3月15日(土)に、豊橋市の景観重要建造物に指定されました。これを記念して、3月24日(月)、前芝校区自治会、みなと塾、前芝伝統文化保存会、豊橋市の共催で点灯式を行いました。子どもから大人まで約200人の地域住民が集まり、明治40年から118年ぶりに明かりを灯しました。

集まった住民のカウントダウンの掛け声に合わせて、前芝町の子どもたち3人がスイッチを押して、明かりが灯され、かつての湊町の風景がよみがえりました。

前芝町の鈴木自治会長やみなと塾の加藤代表から、喜びのあいさつ。笛と締太鼓の演奏で、式を盛り上げました。点灯式の後は、見学会やミニコンサートなど、点灯をお祝いする催しが行われ、参加した住民は、それぞれの時間を楽しみました。

今後はお盆の時期に開催される、「川灯ろうまつり」でも点灯される予定です。



▲ 暖かい光が灯った燈明台に見とれる前芝町の住民たち

地域の誇りとして、みんなで大切にしていきたいでしょう。

景観重要建造物に指定され大変喜ばしい。これをきっかけに、湊町の歴史や文化を振り返り、より良い町にしていきたいです。



▲ 前芝町自治会  
鈴木会長



▲ みなと塾  
加藤代表



▲ 地域の子もたちや前芝  
カフェが作った灯籠の温  
かい光が会場を照らす



◀ 前芝町で笛や三味線などの教室をされている「小島和子、さんと娘の「日和、さん」笛と締太鼓で式を盛り上げました！式の終わりにはミニコンサートも開催！

## ★ 燈明台の内部見学会も開催！

燈明台に明かりを灯した後、前芝伝統文化保存会の林代表が、燈明台の内部見学会を行いました。内部では、江戸時代の伝統的な建築様式の特徴や昔の使われ方などの解説も交えながら、見学会が行われ、たくさんの地域住民が参加しました。参加した住民は、普段、見るできない燈明台の内部の様子を珍しそうに見渡し、内部の独特な雰囲気を味わっていました。

林代表は、「このようにたくさんの住民の方に見ていただけて嬉しい」と話していました。



▲ 明治時代に使われていたランプも展示



▲ 燈明台の解説をする林代表と船絵馬を見て楽しむ親子

## 前芝の歴史と文化

### ● 前芝の燈明台の歴史

かつて前芝町には、前芝湊があり、吉田藩の吉田湊への物資の運搬や対岸の伊勢神宮へ渡航する船舶の碇泊で賑わっていました。そこで吉田藩が海上航行の安全と前芝湊・吉田湊の指針として寛文9年(1669)に本燈明台を建設し、村民の手で毎夜点灯されていました。台風や高潮により幾度も損壊・流失しましたが、その都度、吉田藩により修復され、現在のものは昭和41年(1966)に復元されたもので、当時の姿をとどめている貴重な建造物です。



明治40年(1907)、すぐ横に愛知県営燈台が新設されるとともにその役目を終えましたが、地域住民による前芝燈明台保存会により大切に保存されてきました。昭和40年(1965)に所有が保存会から豊橋市に移管されています。木造の燈明台の遺構が残っている例は、全国的にも少なく昭和40年(1965)には愛知県史跡に指定されています。



### ● 前芝のまち並み

前芝町は、かつて湊町や漁村として栄えた地域で、船溜まりや前芝燈明台などが残り、かつての面影を感じさせる静かなまち並みが広がっています。一部には漁村特有の入り組んだ路地が残っており、低層の屋敷が密集し、往時の面影を今に伝えています。

海を望む堤防沿いに建つ燈明台の姿は、地域の歴史的な景観を彷彿とさせる存在であり、木造瓦葺きの建築様式は景観配慮の規範となっています。



地域の景観のシンボルである燈明台を中心に、かつて湊町であった前芝らしいまちづくりをしていきたいですね！（みなと塾 加藤）

■ 発行：前芝校区自治会、みなと塾、前芝伝統文化保存会、豊橋市